

学校自己評価結果に基づく学校関係者評価一覧

池上学院グローバルアカデミー専門学校

自己評価項目		評価値	学校自己評価	学校関係者評価
I 教育理念・目標	1	4	<ul style="list-style-type: none"> ・克己、感謝、利他の校訓を実践しながら適切さを高めている。 ・明文化されていなかったため現在、ポリシーを明確化する作業を行っている。 	理念・目標・育成人材像について明文化されていなかったポリシーを明確化する作業を行っている事や、体験入学などで生徒や保護者との面談の時間を多く取るなど有意義な活動は評価できる。
	2	4	<ul style="list-style-type: none"> ・社会的ニーズにより2学科を据え、少人数制の丁寧な教育活動を行っている。 ・学校・社会に馴染めない、発達障害など不安に思っている子供が増えている。本校では、そのような子供たちを対象に教育をしている。 	
	3	5	<ul style="list-style-type: none"> ・体験入学・入学者面談・三者面談を繰り返し行い、保護者への周知・理解をして頂く努力をしている。 ・ホームページや体験入学を通じ、丁寧に周知している。また、面談を行うことにより、周知徹底している。 	
II 学校運営	4	5	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな課題に対しても柔軟に対応している。 ・適切に策定されており、周知されている。 	教職員間の意思の疎通をはかるため、定期的な上長との面談を含め、効率的な学校運営を行うため、時間をかけ対応している事は評価に値する。
	5	4	<ul style="list-style-type: none"> ・運営組織は明確にされ、有効に機能しているか。 	
	6	4	<ul style="list-style-type: none"> ・校内サーバーの構築によりデータ共有をしている。 ・ITツールの利用により、遠隔授業や在宅勤務への対応ができており、業務の効率化にもつながっている。 	
	7	4	<ul style="list-style-type: none"> ・職員が教育理念の共通理解のもと、一丸となって業務に取り組んでいる。 ・インターシップの導入をしている事業所が多いので、一般会社での協働体制を増やす必要がある。 	
8	5	<ul style="list-style-type: none"> ・Web上で公開している。 ・学校ホームページに情報公開している。 		
III 教育活動	9	4	<ul style="list-style-type: none"> ・到達レベルの向上に学習時間は、確保されているが、学生の到達レベルについては個人差が大きいところがある。 ・専攻科を開設し、二年間の学びで足りない場合に、ステップアップできる仕組みを作っている。 	学生に合わせて、個別に近い対応をしている事は池上学園の教育の特色である。就職のためのインターシップも年々時間を充てて対応している事は大いに評価出来る。
	10	4	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で十分な行事を実施出来ていないが、徐々に再開をさせている。 ・学校行事の実施や実施形態については新型コロナの感染状況を踏まえて適切に判断して行っている。 	
	11	4	<ul style="list-style-type: none"> ・充分規律を持った指導となっている。 ・授業規律を確保している。指導体制には拡充の余地がある。 	
	12	4	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の一環として、年間を通じて企業・事業所へのインターンシップを行っている。 ・年間を通じてインターンシップを行っている。 	
	13	5	<ul style="list-style-type: none"> ・基準を明確にし評価しているが科目によっては客観的な評価が難しい場合がある。 	
	14	3	<ul style="list-style-type: none"> ・授業見学等を行っている。 ・適切な評価体制を目指す。 	
	15	4	<ul style="list-style-type: none"> ・コーチング研修など、取り入れている。 ・外部研修を実施している。まだまだ足りないと思う。 	
	16	5	<ul style="list-style-type: none"> ・学生の特性を共有し授業を進めている。 ・学生への共通認識・共通理解のため連携している。 	
IV 学修成果	17	5	<ul style="list-style-type: none"> ・年間を通じてインターンシップの導入、就職担当とクラス担任が連携して就職をサポートしている。 	評価項目の中で本校の特徴が出ている項目である事から、より学生の為の支援と教育を推進してもらいたい。
	18	5	<ul style="list-style-type: none"> ・面談の実施や家庭との関係を密にすることにより、学習や生活の不安解消に努めている。 ・学生と話をする機会を多く作っている。 	
	19	3	<ul style="list-style-type: none"> ・学生個人の能力・適正に応じて、外部での活動を積極的に奨励しているがもう少し積極的でもよい。 	
	20	5	<ul style="list-style-type: none"> ・担任だけではなく、教員全体に話しかけやすい環境にしている。 ・より多くの職員と話せる機会を新たに設けている。 	職員全体で学生とのコミュニケーションの場を回り、保護者との面談の時間も多く取りながら学生ファーストで対応している。今後もインターンシップを始めとして外部との関係を多いに持ち、就職や就労に繋げて行って欲しい。
	21	4	<ul style="list-style-type: none"> ・修学支援新制度の対象校となっている。 ・特待生制度を整備し、募集要項や体験入学などで利用を促している。 	
	22	5	<ul style="list-style-type: none"> ・適切に連携している。 ・電話連絡や三者面談を通じ、保護者と密に連携している。 	

V 学生支援	23	卒業生への支援体制はあるか。	4	・卒業生から相談があれば、その都度、支援している。 ・制度は確立されていない面がある。	
	24	ロングホームルームなどを効果的に活用し、職業観の育成に努めているか	5	職場の教養の読み合わせを毎日行い、日常的に職業観の育成に努めている。 ・就職対策や教養の時間を使って、職業教育を行っている。	
	25	社会のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか。	4	・一部整備の必要な面がある。 ・社会的ニーズを踏まえた授業カリキュラムになっている。 ・より充実した環境整備にはコストと時間を要する。	
	26	学生が自己理解、自己啓発、自己実現をするための対策が整備されているか。	5	・自分で考え発信できるように授業を進める事を心掛けている。 ・検定取得のための授業を展開している。インターンシップを年間を通して行っている。	
VI 教育環境	27	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか。	4	・通常の教育活動には対応できているが、より拡充の必要性がある。	ノートPCなど1人1台の環境で学習体制を整えているが、今後の社会情勢を考えた場合、より施設整備の拡充の必要性があると考える。
	28	実習室の効果的な活用が図られているか。	4	・カリキュラムに合わせ十分活用されている。 ・活用方法を検討して行く必要がある。	
	29	防災に対する体制は整備されているか。	5	・消防計画をたて、消防設備の点検等を行っている。 ・消防設備点検を実施している。	
VII 学生募集	30	社会のニーズに応じた学生の募集が適正に行われているか。	4	・進路に困っている高校生に体験入学を通して、本校の教育理念を知ってもらっている。 ・適正に行われているが、広報活動は改善中である。	コロナ感染状況の中、可能な限りの活動をすべく、高校や施設への訪問、中学生への進路選択のためのガイダンスなどを積極的に展開している。
	31	学生募集活動において、教育成果は十分に伝えられているか。	4	・体験入学には保護者も同伴してもらい、模擬授業を保護者に見てもらい、保護者・生徒面談を行っている。 ・体験入学などでは十分に伝える事が出来ているが、広く教育成果を伝えていく必要がある。	
VIII 財務	32	中長期的に学校の財政基盤は安定していると言えるか。	3	・学生募集に集中し、収入を増やす必要がある。 ・改善するべきところは改善して安定を目指す。	募集定員には満たないが社会的意義のある学科を開設しており、社会になくはない学校であるので今後の努力を期待したい。
	33	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。	3	・限られた予算内で有効に使われている。 ・妥当なものになるよう努めていく。	
IX 法令等の遵守	34	法令、専門学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか。	5	・適正に行われている。	法令を遵守するため常に情報を公開し適正に行う努力と注意を払っている。
	35	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか。	5	・適正に行われている。 ・個人情報保護に十分注意を払っている。	
X 社会貢献等	36	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか。	4	・新型コロナの影響で外部からの受け入れが難しい状況である。 ・感染が落ち着き、要請があれば積極的に行っていきたい。	新型コロナの影響で外部への積極的なかわりは難しい点もあるが可能な範囲の中で継続的な活動をしている事は評価できる。
	37	学生のボランティア活動を奨励・支援しているか。	4	・近隣の清掃活動を行っている。 ・学生個人の能力や適性に応じて奨励・支援している。	
全体平均 <u>4.27</u> <評価基準>4段階 適切-5 ほぼ適切-4 やや適切-3 不適切-2 (わからない-1)					